

# ライフケアガーデン熱川

施設管理課

功 績	退職に伴う人員減少の中、ワンチームで取り組み業務改善することで効率的に業務遂行することができ、困難を乗り越えている功績。
推 薦 者	長谷川千代（事務課長）
推 薦 理 由	退職が続き人員不足のなかでも、知恵と工夫と部署内での全員での協力により、困難を乗り越えていく姿はとても素晴らしく、今年度目標である「目指すべき姿」を実践しチャレンジしていることから今回、理事長賞候補に推薦いたします。

## 内 容

---

ライフ熱川は創立から20年を超え、建物自体もおおのずと古くなってきておりますが、その建物全体を「施設管理課」のみなさんが管理、清掃をしています。

とてもキレイに清掃していただいているので、見学のお客様からお褒めの言葉をいただくことが多いです。

そのような中、施設管理課職員の休職や退職が相次ぎ、男性3名、女性4名のところ、8月から男性3名、女性1名となる事態になりました。

開設時から、主に男性がゴミ収集運搬や設備関係、送迎業務、女性が居室・フロア清掃を担っています。実際は7月には女性が3名となり、シフトが回らなくなることが予想されたので、業務内容、清掃道具の見直しを図りました。

業務内容では、男性スタッフも居室清掃に入ることになりました。今までやったことのない業務であるため、少なからず抵抗があるのではと思っていましたが、誰一人異議を唱える者もおらず、むしろ積極的に取り組んでいました。清掃道具の見直しでは、掃除機をコードレスに変え、フロアモップも変更することにより、1部屋当たりの作業時間も2～3分削減されました。本館は27部屋あるので、それだけでも1時間の短縮と作業負担も軽減されました。清掃は体力勝負のところもあるので、作業負担軽減は良かったと思います。

今まで、ほとんど変化のない「施設管理課」でしたが、今回をきっかけに部署内で何度も話し合い、そしてお互いに助け合うことで一体感が形成でき、仕事の生産性が維持・向上。また組織としての結束の強化にもつながったのではないかと思います。

今回、これまでは危機的状況として捉えておりましたことが「知恵と工夫・チーム力」より成功となり。この体験から自信が生まれ、今までできなかったことができ、見えなかったものが見えるようになるなど、各自の能力で解決できない課題も、チームの総合力でクリアしていくことが期待できると感じました。